



第5回 : 酉 恋人のデートを邪魔する鳥

キーワード：トリ ^{あかつき} 暁の鳥 ^{きぬぎぬ} 後朝の別れ ^{やかびちようき} 屋嘉比朝寄 ^{やかびくんくんしー} 『屋嘉比工工四』

ハイサイ！キジムン ヤイビーン(ハーイ！キジムンだよ！) 8月は、十二支では酉(とり)にあたるよ。酉とは、ニワトリのことだよ。

ニワトリは、夜中3時ごろから鳴き始めて、その最初の鳴き声を一番鳥(いちばんどり)といいます。この声が聞こえると、夜を一緒に過ごした恋人たちのお別れの時間。恋人たちの“後朝(きぬぎぬ)の別れ”を告げるニワトリの声は、多くの歌に詠まれてきました。



ニワトリの声を詠んだ代表的な琉歌を紹介します。

ひしにうるとういぶし
干瀬に居鳥節

干瀬に居る鳥や満潮うらみゆい

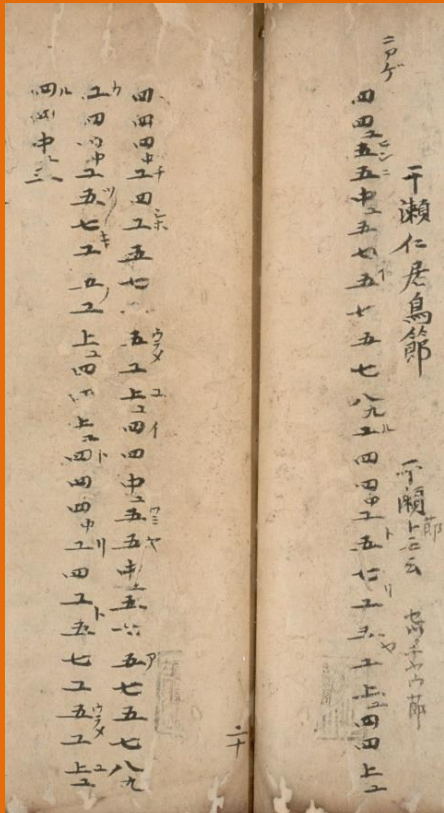
我身や暁の鳥ど恨みゆる

【読み】 ひしにうるとういや みちしゅうらみゆい わみやあかちちぬ と
ういどう らみゆる

【意味】 海の干瀬にいる鳥は満潮を恨めしく思っていて、私は暁の鳥(ニワトリ)を恨めしく思っています。

恋人達が朝を告げるニワトリの声を恨めしく思っていた気持ちが伝わってくる歌です。

この琉歌は、^{やかびちようき} 屋嘉比朝寄 (1716-1775)によって編纂された ^{やかびくんくんしー} 『屋嘉比工工四』



伊波普猷文庫No.440 『屋嘉比工工四』

26 ページ

に所収されています。これは、琉球古典音楽の楽譜で、117 曲を収録。屋嘉比は、中国の記譜法を参考にして独特の漢字の符号によって、三線のツボ(音階)を示す記譜法を作り出し、画期的な琉楽譜を創案しました。この本は、



デジタルアーカイブQRコード

^{まじきなあんこう} 真境名安興が所有していましたが、のちに伊波普猷の所蔵となり、現在は琉球大学附属図書館伊波普猷文庫に所蔵されています。1955(昭和30)年、沖縄県有形文化財に指定された貴重な古文書です。

ニワトリは、琉球では、恋人たちのデートの終わりを告げる鳥です。恋人たちから恨まれてたくさんチキンにされた・・・のかもしれない。

『屋嘉比工工四』の詳しい解説と画像閲覧は左のQRコードから、琉球沖縄関係貴重資料デジタルアーカイブへGO! (AS)